

平成27年度 広島大学大学院文学研究科  
博士課程前期 外国人留学生特別選抜Ⅱ 適性検査  
答案作成上の注意

専門分野	倫理学
------	-----

1. 検査に関する注意

- ① 検査開始後、直ちに下記の問題紙枚数等を確認してください。

問題紙	2枚
解答用紙	2枚
下書用紙	1枚

- ② 受検番号等は、すべての用紙の所定の欄に記入してください。

2. 解答記入に関する注意

解答はすべて解答用紙に記入してください。

平成27年度 広島大学大学院文学研究科  
博士課程前期 外国人留学生特別選抜Ⅱ 適性検査問題

専門分野	倫理学
------	-----

(2枚中の1枚目)

I (英語問題)

次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

The world of our experience consists at all times ( 1 ) two parts, an objective and a subjective part, of which 1the former may be incalculably\* more extensive than 2the latter, and yet 3the latter can never be omitted or suppressed\*. ... the inner state is our very experience itself; 4its reality and 5that of our experience are one.

(William James, *The Varieties of Religious Experience*, New York 1902, pp.498-499)

註

\* incalculable : too great to calculate

\* suppress : to put an end

問1 上の文章を書いた著者の思想的立場を次の中から番号で選べ。

①Marxism ②Utilitarianism ③Existentialism ④Positivism ⑤Criticism ⑥Pragmatism

問2 ( 1 ) の中に入る前置詞を、次の中から番号で選べ。

①in ②of ③with ④on ⑤from

問3 文中の二重下線部分で示した「state」の意味は次のどれが最も適切か。番号で選べ。

①condition ②community ③government ④express

問4 各下線部 1 から 5 は何を指しているか。英語で答えよ。

問5 上の文章を日本語に全訳せよ。

(解答用紙に答えること)

平成27年度 広島大学大学院文学研究科  
博士課程前期 外国人留学生特別選抜Ⅱ 適性検査問題

専門分野	倫理学
------	-----

(2枚中の2枚目)

Ⅱ (日本語問題)

次の文章は、法とモラル（道徳）との密接な関係について触れたものである。読んで以下の問いに答えよ。

法とモラルとは相即の関係にある。「法はモラルの最低限である」というイエリネックの言葉がそのことをよく示している。モラルに抵触する法は法的機能を維持することができない。法は、それを守ろうとするモラルがなければ、お題目とほとんど異ならないからである。たとえ厳しい法的罰則があっても、それだけで法秩序を生むことは難しい。そして、法秩序が保たれていて初めて、モラルの発動が促されることも間違いない。

(越智貢「モラルの教育」越智貢編著『教育と倫理』ナカニシヤ出版、2008年、13頁)

問1 下線部の文章はどのようなことを意味しているか、具体的に説明せよ。

問2 法とモラル（道徳）には密接な関係がある半面で、明確な違いもある。それらはどのように異なっているだろうか。相違点を複数挙げて、具体的に説明せよ。

問3 モラル(道徳)はなぜ存在するのだろうか、その理由についてあなた自身の考えを述べよ。

(解答用紙に答えること)

# 解 答 用 紙

専門分野	倫理学						
受検番号							

(2枚中の1枚目)

## I (英語問題)

問 1  問 2  問 3

問 4

1		2		3	
4		5			

問 5

# 解 答 用 紙

専門分野	倫理学						
受検番号							

(2枚中の2枚目)

## Ⅱ (日本語問題)

問 1

問 2

問 3

# 下 書 用 紙

(1枚中の1枚目)